

特定非営利活動法人 都市と農山村交流スローライフセンター

Vol.24
2009.2まちと森をつなぐ 

スローライフ通信



「とよた旭高原山楽会」 設立!

とよた森林学校「間伐ボランティア初級講座(第8回森林塾)」9月、2泊3日の卒業生のみなさんが、1月10日に新しいグループを立ち上げました。そのメンバーの古川さんから熱いメッセージが届いています。(紙数の関係でメッセージの一部だけしかお伝えできませんが、お許しください。)

設立趣意書(草案)

「新しい年の始まり、小さく雪花の舞う日。樹齢1200年の貞観杉に守られてきた豊田旭地区、杉元の里。世界経済が大危機の時、「豊かさ」の意味が変わろうとしている時代。『森の応援団』を広げるための新たな挑戦が、またひとつ始まった。

とよた森林学校、第3回「間伐ボランティア初級講座」の同期生12名が集合した。参加できなかった8名全員からのメッセージも届いた。この3ヶ月間、手ほどき頂いた先輩2人が立ち合ってくださいました。久しぶりに近況を、会の名称の考案理由を、これから出会う人々へのメッセージを、期待を、願いを、心構えを…それぞれが、それぞれの言葉で語った。

私たちの会 『とよた旭高原山楽会/あさひこうげんさんらくかい』

森林学校が開催され、私たちがスタートをきった 旭高原。最初の活動拠点が提供された 旭高原。私たちの会は、この会に参加してくる人々を歓迎する。私たちの会は、都市の人々に伝達する。私たちの会は、未来に向かって発信する。後に続いてくれる人々に、未だ見ぬ仲間たちに、元気を与えられる存在に私たちは成ろう。そして、何よりも、私たちの誰もが、楽しくなければならぬ。

2009年1月10日 とよた旭高原山楽会 代表 鈴木敏治 世話人 福島 徹(山)

今後の予定 (要問合せ:NPOスローライフへ)

- 2月1日(日) 矢作川流域環境シンポジウム
豊田スタジアム東側テントにて 無料
午前9時30分開場、10時開始
- 2月13日(金) 豊森プロジェクト キックオフ会議
午後1時30分～ トヨタの森
- 2月20日(金) 北岡ゼミ 午後7時～木材センター
- 2月26日(木) とよた都市農山村交流ネットワーク
研修会 燻製と春まき種(要・問合せ)
- 3月8日(日) とよた森林学校「伊勢神宮外宮の森」
7時30分豊田市森林会館出発

(問合せ:とよた森林学校事務局0565-61-1618 2/16締切抽選)

- 3月17日(火) とよた都市農山村交流ネットワーク

09年度総会(要・問合せ)

午後6時30分～ 足助支所2階会議室 (次ページへ)



3月19日(木) とよた都市農山村交流ネットワーク 研修会(要・問合せ)

ソーセージづくり体験

3月22日(日) とよた森林学校3周年記念行事(要・問合せ)

4月4日(土) 森もり会総会と観察会(要・問合せ) 9時～

とよた都市農山村交流ネットワーク、 12月10日に設立総会 80人で

豊田市はこの3年間、市内小学校1校をモデルに5年生の2泊3日の農山村体験を実施してきました。このセカンドスクール事業を含め都市と農山村の交流について農山村住民の立場から考え話し合いでまとめたのは、以下の二つの点でした。

農山村部がさびれていく危機的な現状で、個人レベルだけでなく、みんなが力をあわせて農山村の振興に取り組んでいこう。都会人も田舎人も、いっしょに元気になろう。

ネットワークをつくり、市内農山村全域の交流居住の情報交換やノウハウの共有しよう。



鈴木公平市長が激励

そこで、昨年12月10日に設立総会(80人参加)を開き、セカンドスクール

など都市と農山村交流の継続と発展、インターネット等による情報発信、農山村の人材や文化など宝の発掘や研修、山里学校による都会の応援団の形成などの方向を決めました。都市農山村交流を担ってきた人や、これからスタートという人など多くの方々の力で、生き生きとした農山村づくりをめざしています。(山)

日帰りの農山村体験から、田畑や森林作業のボランティアから本格的な担い手まで。短期滞在から移住まで様々な田舎暮らしを「交流居住」と位置づけている。

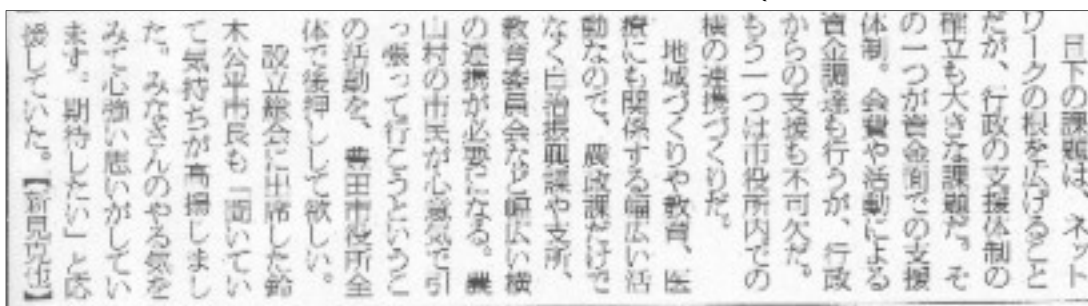
山里学校～山里の暮らしと共に暮らす知恵を学ぶ

とよた都市農山村交流ネットワークでは、市民による農山村振興の担い手づくりを目的に「山里学校(仮)」の開設準備をすすめています。4月からの10回講座を予定し、野良仕事(稲作・畑作・果樹栽培)、山仕事(間伐・炭焼き)自然、住、食(郷土食・豆腐・コンニャク等)、

手仕事、工芸(染・織・竹・藁・紙・木工)、暮らしなど「旭・足助・稲武・下山・小原」の5地域のネットワークを生かして、山里へ行ってみたくなる、体験したい!と思うような魅力ある講座づくりをめざしています。自然農の川口由一さん、水田不耕起栽培の岩澤信夫さんの講演や映画上映会もあわせて検討中です。

人との出会い、つながりを大切にしたいと思っています。皆様ごはんをいただいて学びあい、それぞれの場所で実践していけるきっかけとなりますよう。どうぞ宜しくお願い致します。(安達)

(矢作新報より 右ページからの続き)



都市のニーズ

農山村の活性化を目指す市民組織「とよた都市農山村交流ネットワーク」(山本薫久代表)が12月10日、市役所足助支所で設立総会を開いた。平成17年の豊田・東加茂の市町村合併は、自動車産業で発展した都市部と、その都市部に人材を吸い取られ高齢化・過

つなぐ窓口

球化が進む農山村部との合併だった。合併のテーマは「都市と農山村の共生」。新豊田市は、農山村が抱える大きな課題を解決する役割も担うことになった。

その課題の一つが広大な荒廃人工林の緊急整備だが、これについては合併後すぐに本腰を入れ、

とよた都市農山村交流ネットワーク設立



設立総会には心意気を持った老若男女60名ほどが集まった。鈴木公平市長も「気持ちが高揚しました」と笑顔だった。

個々の交流活動を効果的に連携

農山村の有志が心意気でまとまる

すでに全国先進の事業が始められた。長期計画が策定された。気象動に左右されないよ

う基金も積んでいる。もう一つの大きな課題は、地域文化やコミュニ



山本薫久代表

の生活を体験している。最終年の今年度は、市農政課を事務局に、受け入れ側の農山村5地域(足助・下山・旭・稲武・小原)の有志たちが毎月1回集まり今後の交流のあり方を検討してきた。

このなかで「個々で行ってきた活動を効果的に連携すればもっと色々なことがやれるはず」「これは行政の仕事でなく我々が行うべき仕事なんだ」という心意気で考えがまとまり、ネットワーク設立につながった。下部組織として、農山村5地区がそれぞれ地域性を生かして事業を検討できるよう「地域会」を設けたほ

か、都市部の市民で構成する応援団「交流市民の会」も置かれる。事務局もふくめて民間組織だが、市農政課と二人三脚で進めることになる。

グリーンツーリズムを視野に研究活動も事業内容としては、①セカンドスクールの本格実施、②情報の集約収集と発信、③研修・調査研究(グリーンツーリズムの研究、地域の人材・文化の掘り起こし、交流居住の企画)、④農山村振興の担い手づくり(田舎暮らし学校の開設、市民応援団の形成、など)が考えられている。

豊田市農政課との共働事業

ティの維持、農地保全など、高齢化・過疎化にともなう諸問題を、さびれゆく農山村を活性化させるには、都市部の市民のニーズである「ゆとり、癒し、生きがい」とつながることが必要と言われているが、合併から3年、政策として進んでいなか

た。今回設立された「とよた都市農山村交流ネットワーク」は、そうした課題を解決しようとした立ち上がった組織だ。土台となったのは市農政課が18年度から3年間試行してきた「セカンドスクール・モデル事業」。都市部の子供たちが農山村へ体験留学すること

で、農山村の活性化と子どもたちへの教育効果を狙ったものだ。農家や体験施設、民宿など約80戸が受け入れ、3年間で300人近い児童が農山村

山里暮らしの知恵を学ぶ
<暮らしをつむぐ塾 in 西村自然農園>

12月10日(水)...おせち料理

大人8名子ども1名の参加。黒豆や田づくり伊達巻き等、これならお家でもできる!という簡単で美味しい料理を学びました。

12月21日(日)...味噌びらき

大人6子ども乳幼児各1名の参加。春に仕込んだ「黒豆スローライフ味噌」は濃厚でそのままでも美味しい。鉄火味噌づくりも行いました。

1月14日(水)...甘酒・納豆・かきもち(おへぎ)・豆腐づくり

大人7名の参加。かきもち餅を薄くはぐ、へぐ?というところから「おへぎ」とも言われる保存食。甘酒や納豆は時間が美味しくしてくれ、できたてのお豆腐は暮らしに取り入れたい格別の味!



塾には、定年を迎え色々と挑戦していきたい方、子どもに手作りの体験をさせたい方、農、野草を学びたい方、自分でも起業したい方...等、それぞれの想いで集まっています。はじめての人も、一緒に作って食べてお話しの中で自然と交流ができるのが醍醐味です。

次回は2月15日(日)18日(水)。びわ葉エキス・麹づくり・燻製・予定。

申込: 安達(080-3645-2641 adachinari@gmail.com)まで。(安達)

第8回足助炭やき塾、「感動の連続でした！」

第8回足助炭やき塾に参加した方の感想です。

第1日目、11月29日(土)はアベマキ、カシの木の伐採と薪割り。24人の参加。

「地響きをたてて倒れる大木にびっくりした。」「1mに切られた木を斧で割ってみた。何回も弾き飛ばされた。木の硬さと弾力性を身をもって知った。」「息子が木が伐られて死んじゃうと言った。昨年伐られた切り株を見せてもらえ、いっぱい芽を出し育っているのを知り感心しました。」

第2日目、11月30日(日)は炭材の炭焼き窯への搬入と点火。29人の参加。

「最初、炭窯の中は狭いなーと思ったが、割られた炭材をびっしり隙間なく詰めていく作業をやってみて、今は広いと思えるようになった。外に背丈以上に堆く積まれた炭材が、ほとんど窯に入ってしまったのだから。」「形が一樣でない炭材が窯に運ばれる。受け取り瞬時に適した所に立掛ける。その上に短く切られた燃材の上げ木を積み込んでいく。手順が美しい。体の動きに無駄がない。作業する梶さん(塾頭)の体と気の流れが美しい。」

最終日、**第3日目**は12月13日(土)。炭焼き窯からの炭の搬出、炭切りです。29人の参加。炭窯は第2日目以降、搬出入口がレンガと赤土の壁で完全にふさがれた状態になっています。塾頭の梶さんでも経験からある程度「予想」できるものの窯の中の実際の炭の出来具合は「神ぞ知る」状態なのだそうです。待望の「ご開帳」。出入口の土壁を壊し開いた窯のなか...。硬さのある良い炭がたくさんできていました。樹の形が残ったものなどを記念にいただきました。

参加者は、直接発言した以上のものを体感し心に沁みこませたにちがいないと思います。(山)



『とよた森林学校3周年記念行事』

3月22日(日)午前9:30から午後4時ごろまでとよた森林学校の3周年記念の行事が行われます。場所は豊田市勘八地区市有林と豊田市保見交流館です。

9:30から昼までは、勘八市有林自然観察会です。「シデコブシと春の植物たち」と題し、講師は北岡明彦さん、北岡由美子さん、松山太さんやこのとよた森林学校自然観察リーダー養成講座卒業生で結成された「森もり会」のメンバーがあたります。



また、保見交流館では11時よりOB交流会。今までとよた森林学校

に参加いただいた方による経験交流をします。

そして、1時から特別講演「生物多様性の観点から見た人工林管理のあり方(仮)」というテーマで東京大学の鷲谷いづみ先生にお話いただきその後、「とよた森林学校3年のあゆみ」「OBの活動報告」2009年の講座発表があります。

観察会参加者も合流するようにバスの用意もされています。有意義な行事になるよう、とよた森林学校事務局・森林課が準備しています。(西)

森もり会のブナ科樹木分布調査 (投稿: 森もり会代表 岩月さん)



とよた森林学校の自然観察リーダー養成講座修了生のグループ「森もり会」ではブナ科樹木の分布調査を豊田市全域で行っています。

ブナ科には、シイ、カシ、コナラ、アベマキ等、身近の樹木が含まれます。これらの、自然植生を、調べることにより、この地域の将来の森林を自然に近い状態にするのに重要な指針となるはずで。

調査は、市内を1Km四方に区切ったメッシュ図を利用し、各メッシュ毎にどのようなブナ科樹木が生育しているか、現地に行っ

て調査するものです。

市内には標高20mから1200mまで約900メッシュの調査地点があります。これを2年間で調査します。調査が始まって約1年経過し、ほぼ半分の地点の調査を実施しました。3月22日の森林学校3周年の記念行事で中間発表をすべく準備中です。

調査をしていると、いつも同じ種類の木しかなく単調なこともあります。時々思わぬ発見があり、木を見る目が少しずつ変わっていくのを実感することがあります。



とよた森林学校

森の達人を訪ねて 第3回「木工の達人」



この講座の最終回です。講師は横沢唯史さん。下山のお宅を訪ねました。スローライフの講座で「ログハウス作り」の講師をお願いしていた方です。



森の中の一軒屋で周りの山の木が木工の材料です。「種類によっ

て音が違うんです」「ヒノキ、アオモジ、アブラチャン、シロモ

ジ…」と何種類も並べて音色を聞かせてくれました。みなさんビックリ「ほんとに自然の声ですね」参加者の方がほのぼのと言っていました。自分で作ったログハウス「ライフライン(水やトイレなど)も自分でやります」「生きてる気がするんですね」と話してくれた横沢さんは、生活全部が自然とともにある達人でした。(西)



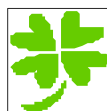
夜の闇に活動するムササビを観察しよう(とよた森林学校特別講座)



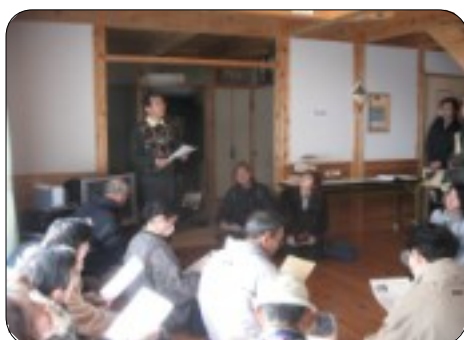
「とにかく寒かったです。真っ暗な神社の中で1時間以上もじっとしている経験は、始めてでしたが、耳をすませ、月明かりの下、動くシルエットを観察しました。ムササビの泣き声が聞こえたり、木を昇るシルエットが見えたり、後ろから滑空して来たり、なかなかスリルに満ちてました」12月6日の夜、豊田市広幡八幡神社でムササビの観察会が、行われました。寒さに勝る探究心が参加者に満ちていました。(西)



木づかい住宅勉強会(3回講座)



この講座の第1回目(1月25日)は、一級建築士の大江忍さんが講師です。「近くの山の木をつかった木造住宅」と題し、豊田市の森林の現状、木造住宅とは、在来構法(ハウスメーカー)と伝統構法の違い、いくつかの実例紹介などから、日本に適した環境に考慮した子孫に迷惑をかけない、将来を考えた住みやすい木造住宅についての話を伺いました。



午後は、木をふんだんに使った原

田さん(豊田市森林課課長)のお宅を見学し、その後、土橋木材で「国産のスギ・ヒノキを適材適所に使用」することでもっと長持ちする「本物の家造り」を倉庫や土橋木材の安藤さんのお宅を見学しながら伺いました。

今日の講座は、3人の方から木を使うことへの熱い思いが聞かれ、次回への期待がふくらみました。(西)

矢森協総会 & 合宿 2009/1/17,18

矢森協平成21年の総会・合宿が“安全に、愉しく、気づきと学び”をテーマに、四ツ松のフィールドを中心に40数人の参加で開催されました。

今回の講習会は“目立て”で、チェーンソーの切れる仕組み、理論を学び、刃を仕上げる事です。全員がチェーンソーに向かい黙々と目立てをする様子は異様な雰囲気をも感じます。幅広で3~5cmの木屑が出たら合格です。中には刃の長さを揃え直し、最初から刃を作り直す人もいました。今までと切れ味の違う、チェーンソーに仕上がりが感動ものです。仕上がった人から、を立て受け口の練習に入ります。100本切りとはいきませんが、



1.5mほどの丸太

何十回と受け口追い口を切る練習をして、立ち位置、姿勢の確認をしました。



総会は木材センターで、この一年の活動報告が丹羽代表からあり、各グループの紹介では、今年とよた森林学校森林塾を卒業して結成された、“とよた旭高原山楽会”が紹介され、矢森協への加入が承認されました。又、ゲストとしてトヨタ自動車の森林ボランティアグループから「森林活動の森・大洞」(豊田市市有林)などで活動しているなどの挨拶と紹介がありました。

夜は、あすけ里山ユースホテルに移動し懇親会で盛り上がりました。2日目も続けて、目立て・受け口の練習です。最後はグループ事に実際に伐倒し掛り木など、安全な伐倒を中心に講習を受けました。フィールドとなっ

た四ツ松の森に講師陣から“妥協のない森”と賞賛の頂き、今後も地域との交流を大切に、安全で“妥協のない森”作りを目指す事を誓い、合宿は終了しました。(松)

12月21日 鳥川地区間伐モデル林

矢森協のモデル林事業平成21年度1号地が岡崎市鳥川地区で始まりました。

鈴木章さんのイントラ、鳥川小学校校長始め地元の方10数名、矢森協から10名の参加を得、

まずは林分調査、竿を回して選木、矢森協メンバーによる間伐、地元の方は目立て講習、午後からは、受け口作り、矢森協の間伐デモンストレーション見学。

地元の方の帰り道、「こんなの初めて、面白かったナァ~」の音が聞こえた

そうです。矢森協評議会では「地元の方の役に立てたのではないか、やってよかった」と話題になりました。(松)



矢森協評議会 (1/8)

- ・モデル林関係・・・ピラ、手続きなど
- ・合宿 1/17～18 詳細 参加者数46名+10名ぐらい
- ・その他 2/1鳥川モデル林間伐 2/1環境シンポ (豊田スタジアム)

魅惑の『北岡ゼミ!!』 (松山 太さんの投稿)

今回のテーマは、“日本列島の植物相”。

日本に自生する植物は、[約4500種と豊富]、[朝鮮半島や中国・ヒマラヤ要素と共通種が多い]、[そはやき要素、日本海要素などの固有種が多い]、などの内容。

ちょっと難しいけど、北岡隊長の最も好きなテーマで、「20年やれば理解できる」とのお言葉。「個々の植物の名前を覚えるより、分布・由来・背景・歴史を知っていくことがより面白く大事」なのだー!

今日の問題は、天生溪谷と大白川のブナ林で集めた15枚の押し葉。皆必死で格闘し、答え合わせは本当に楽しい。顕微鏡で見る、オオカメノキの星状毛やヤマブドウのクモ毛には、Oh!感動。 Welcome北岡病院? こないともったいない!!

次回は2月20日(金)午後7時から

年会費納入ありがとうございました

スローライフ会費納入・新入会の方(敬称略)

会員 寺島弘恭、中根陸雅、岡本一郎、小沢守、鈴木邦夫
 賛助会員 船木俊子 中村正信 加藤正光
 寄付 エコアップ探検隊、松田進、羽田弥来

感激! 12月13日、若林交流館「エコアップたんけん隊」から8千円の寄付! ありがとうございました。

「エコアップたんけん隊で廃油せっけんを作ってふれあいまつりでチャリティー販売し、得た収益金八千円を貴センターの活動のために寄付いたします。」と井本将成君から寄付金を受ける梶さんと山本代表(写真)。



自然観察会 (北岡さん関係)

面の木倶楽部自然観察会 (日程変更の場合があるので下記電話にて確認を)

2/15 磐田市桶ヶ谷沼 駐車場10:00集合

3/15 面の木峠 駐車場10:00集合

海上の森自然観察会

毎月第4日曜10:00集合 愛知県環状線山口駅 問い合わせ先0561-84-2953



各講座参加申し込み、入会申し込み、資料請求、情報提供、問合せ

& fax: 0565-62-4011 携帯: 090-5453-6411 eメール: sigekayo@juno.ocn.ne.jp
 〒444-2407 豊田市桑田和町日面71-1 山本薫久

NPO法人都市と農山村交流

スローライフセンター

<http://slowlife-c.com>

このニュースは無料です。
 会員以外でも講座など参加できます。また会の趣旨に賛同いただける方のご協力を随時募集しています。

会員1口3000円、賛助会員1000円
 口座 豊田信用金庫 足助支店 8905400
 特定非営利活動法人都市と農山村交流スローライフセンター
 (トクヒ)トシトノウサンソウコウリユウスロ

1月5日よりゆうちょ銀行・郵便局と他の金融機関とのあいだで振込みができるようになりました。
 銀行名:ゆうちょ銀行、金融機関コード:9900、店番:089、店名(カナ):089店(ゼロハチキウ店)
 口座番号:0134019、カナ氏名:トクテイヒエイリカツドウホウジントシトノウサンソウコウリ